福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	実務研修
科目基礎情報					
科目番号	0108	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建設環境工学科 (R2年度開講分まで)	対象学年	4		
開設期	集中	週時間数			
教科書/教材					
担当教員	高荒 智子				
到達目標					
①技術者としての心構えを体得する。 ②学校での学習内容やこれから身につけるべきことを実習先の業務内容を参考に確認する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。	到達目標の内容を実践で理解している。	到達目標の内容を実践で理解していない。		
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	社会における技術者の役割を認識するとともに、学校で修得した知識が実社会でどのように活用されているかを理解することにより、今後の学習に役立てる。				
授業の進め方・方法	定期試験は実施しない。 実習先からの報告書と報告会での発表内容を100%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。				
注意点	無遅刻、無欠勤および周囲への気配りなど社会人としてのマナーを遵守するとともに、計画したカリキュラムを遂行し、その後の学業に役立てること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	<p>(実習受け入れ先の決定) ①実習先の希望調査 ②実習先との調整 ③実習先の学科内調整 ④実習先の決定</p> <p>主な実習先は以下のとおり。(平成29年度実績・順不同)</p> <p>地質基礎工業(株)、小野田ケミコ、(株)テムロ、長谷川体育施設、横浜大一建設、東日本高速道路(株)、(株)鴻池組、(株)東京電力、電源開発(株)、丸磯建設(株)、川田工業(株)、荏原環境プラント(株)、日栄地質測量設計(株)、常磐開発(株)、若築建設、東京下水道サービス(株)、フタバコンサルタント(株)、五洋建設(株)、(株)小野工業所、アクアエンジニアリング、(株)ふたば、(株)東日本建設コンサルタント、地質基礎工業(株)、東京水道サービス(株)、前田建設工業(株)、東コンサルタント、オリエンタル白石(株)、ドービー建設工業(株)、いわき市役所、国土交通省東北地方整備局、港湾空港技術研究所、建設技術研究所、JAEA、東北大学、(実習の期間)</p> <p>・原則として第4学年の夏季休業中に実施する。ただし止むを得ない事情により夏季休業中に実施できない場合は、他の休業中に実施することができる。</p> <p>(実習の実施) ・実習先のカリキュラムに従い、管理業務補助、計画、調査、測量、設計、積算、施工管理、研究等を体験する。</p> <p>(成果の報告) ①実習の成果は、本校所定の様式に従い、「報告書」としてまとめる。 ②夏季休業明けに、学科で行う報告会において、実習内容と成果を報告する。</p>		
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			

		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表・報告書	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0